



新緑の風を感じる 潮風トレイルと 市民歩け歩け大会

第8回みちのく潮風トレイルウオーキングWith第39回市民歩け歩け大会は6月1日、馬陵公園からスタートし、県内外から参加した約180人がゴールの千客万来館までウオーキングを楽しみました。ウオーキングコースは、相馬インターチェンジ近辺や国指定重要文化財の涼ヶ岡八幡神社などを経由しながら、千客万来館までの約13キロメートル。

澄んだ青空の下、参加者は相馬福島道路工事の進ちよく状況、相馬の緑豊かな自然や文化を目にしながらかコースを進みました。

ゴール後、ノリ汁が振る舞われ、参加者は歩いてきたコースを振り返りながら舌鼓を打っていました。



五穀豊穡祈る 相馬宇多郷の神楽舞



雷神社（坪田）の例大祭は6月16日に開かれ、市内7地区の敬神会などが神楽を奉納しました。

歴代の中村藩主は、藩内の

各郷に豊作や降雨をもたらす雷神社を祭って、社前で五穀豊穡を祈り神楽を奉納するよう奨励していたといわれています。

宇多郷の郷社であった雷神社の神楽奉納は、旧中村藩で踊られた姿を伝承していることから、平成4年に県の重要無形民俗文化財に指定されています。

神楽を奉納したのは、台瀧神社、涼ヶ岡八幡神社、岩子、原釜、日下石、松川の敬神会や保存会など。

神社を訪れた人たちは、次

々に奉納される神楽に見入っていました。



親子でにぎわった スマイル縁日



スマイル縁日は6月9日、相馬愛育園で開かれ122人の親子らが参加しました。

イベントは、ボランティアグループの相馬スマイルクラブの主催。

会場には、お金に見立てた「スマイル券」を使った昔の駄菓子屋の買い物や型抜き、くじ引きなど、8つのコーナーが設けられました。

くじ引きで大当たりが出る会場に歓声があがり、大盛り上がりでした。

また、型抜きのコーナーでは、子どもたちに交ざって真剣な顔でチャレンジするお父さん、お母さんの姿もあり、親子で一緒に楽しいひとときを過ごしました。